

伝わる業務のDX「スマートアバター®」

「伝わる力」が、社会を変える



有限会社BOND (https://f-bond.co.jp) が世界に先駆けて開発するAIエージェント「スマートアバター®」は、データ駆動型で伝える3Dロボットです(特許)。テキストや画像を受けると人の感情を解析類型し、カスタマー役を務めるアバターの表情や仕草、カメラワーク、総合演出に至るまで全自動で行います。今までの「読んで理解する情報」を「聞いて観て感じる情報」へあっという間に変わることによって、人に代わって伝える業務効率を補い、多様な伝える課題を解決する「伝達力を補うための秘伝のタレ」と言われています。(多言語連携可)



多様なデータ

文字
画像

独自
AI

文字・画像から感情解析類型

表情仕草など総合演出を全自動で行い
人に代わって親切丁寧、解り易く伝える

多様な形式・多言語

動画
生成

ご案内5分動画



Action① 手入力で番組生成し放題、親切丁寧に伝える

Action② データから自動生成し放題、親切丁寧に伝える

Action③ 自由な質問にも双方向で親切丁寧に伝える

Action④ 無償の遠隔案内や発信管理TVで新サービス創出

PowerPointがそのまま番組に！番組制作おまかせサービス (シナリオデータも納品)

シナリオデータとは、動画を生成するための命令を書いたテキストであるため、①と連携すれば、再利用・修正・更新を簡単にいきます。

スマートアバター®シリーズ

豊かなコミュニケーションをリアルとバーチャルで補う



①動画生成ツール

PC版



オンライン
販売サイト



②動画生成ツール

API



データ連携による
自動生成



③双方向対話システム

API×応答用AI

無償オプション

番組管理配信システム

無償：ネットTV

人による音声通話

無償：遠隔操作案内

研修時間や
事業説明の定着化



受付案内の効率化



説明の解り易さなどCXの
向上に、営業資料の動画
化説明の均一化に



SNSや
動画チャンネルで



障がい者も平等に活躍
できるツールとして



高校生による
地域貢献

行政や企業のDX推進
危機管理誘導



データ連携による
多言語案内

ロボットなど
UI・IOTで



北九州空港の
伝え方改革



医療現場の感染拡大防止
ストップコロナプロジェクト
ウィルス感染拡大防止
のソーシャルコミュニ
ケーター役として24時間
最新情報の発信

自由な質問にも図や画像
を示しながら親切丁寧に
応える、音声対話AI

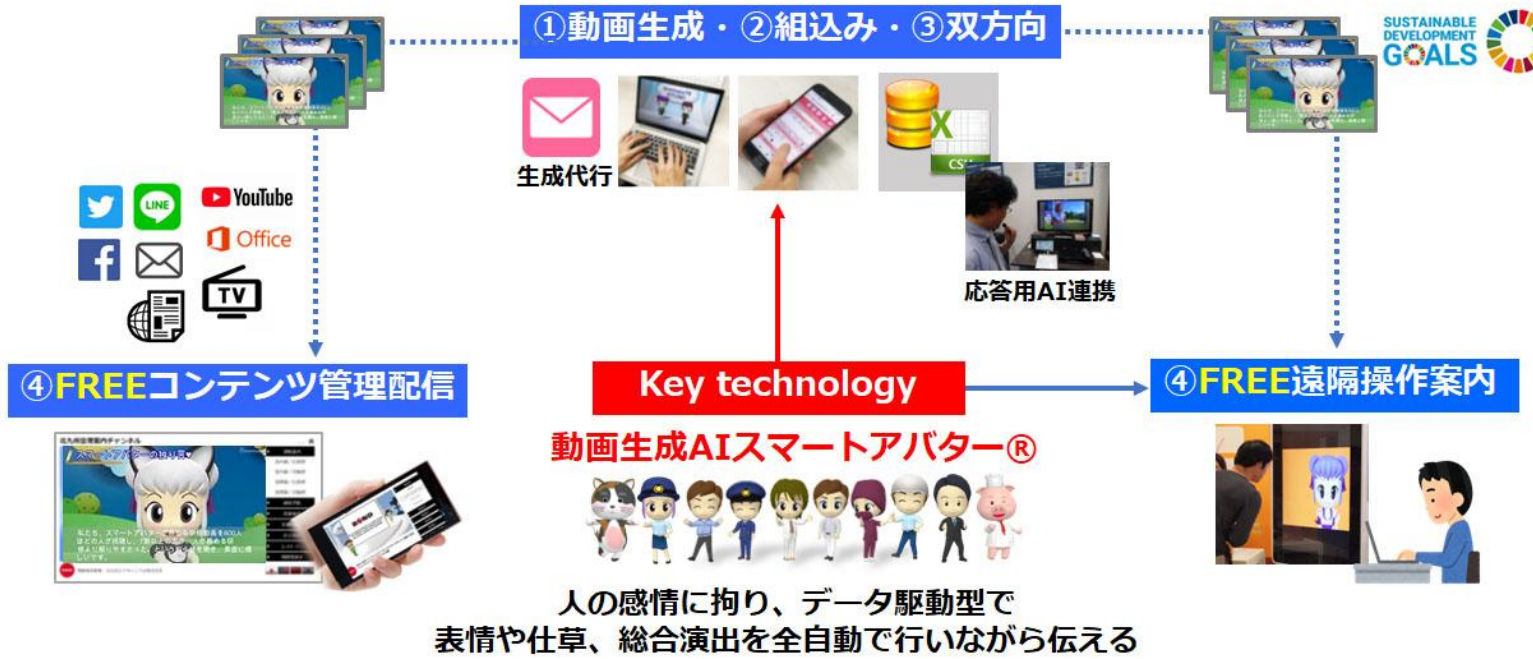


音声対話とスマートア
バター®による新UI
(ケーブル技術ショー)

BOND

開発元：有限会社BOND <https://f-bond.co.jp>
電話093-561-5521 power@f-bond.co.jp

2025年12月現在実績：敬称略 北九州市・新潟市・宮崎県庁・福岡県立筑前高校・東京ガス・ニッセイウェルズ・NTT データスマートソーシング・東京海上日動・スターフライヤー・りそな銀行・JR西日本・JR東日本パーソナルサービ
ス・富士フィルム・瑞穂・マクセル・東武鉄道・パナソニック・東京海上アセットマネジメント・光文堂・アサヒビ
ール・富士フィルム・日本信号・伊藤忠グループシステム・J:COM・九州工業大学・横浜国立大学・大阪産業大学・青山
学院大学・九州産業大学・NTT印刷・小倉城テラス・いがらし歯科イーストクリニック・安川情報九州・インフォマ
ティクス・馬場記念病院・TOTO・MAYASTAFFING 北九州市立八幡病院・SCSK・三菱マテリアル・ウチダエスコ・
CHC・高見神社・響灘菜園・NTT西日本・福岡県立筑前高校・福岡県教育センター・教育庁・九電工・三島光産・シー
ドコーポレーション・九建・ケイビックス・シンピーオ・てまりグループ・清水建設 松尾建設 九州女子大学 他



伝える絆を創造する_BOND BRAIN

グラフィックデザイナー
番組動画生成AI考案者

前、日本電気株式会社
リードAIサービスプランナー

九州産業大学
理工学部機械工学科教授

久留米工業高等専門学校
制御情報工学科

九州工業大学大学院
情報工学研究院教授



受賞歴

- 2013年 マサチューセッツ工科大学 日本分科会主催第13回MIT-VFJ優秀賞 (一位)
- 2014年 キャロラインケネディ駐日大使表彰 日本政策投資銀行コンペティション表彰
- 2015年 経済産業省 自治体ベンチャーマッチングイベント佐賀県賞。
- 2016年 福岡県新商品認定 北九州市トライアル発注認定商品認定
- 2017年 福岡県ベンチャーマーケット2017特別賞
- 2019年 第31回 中小企業優秀新技術・新製品賞 奨励賞受賞
- 2023年 北九州発、新商品創出事業認定
- 2024年 福岡県新商品の生産による新事業開拓者認定
- 2024年 IT補助金2024 支援事業者認定

保有特許

- ①動画生成ツール: PCアプリ版 販売開始
- ②動画生成ツール: WEB版 販売開始
- ③ネットTV 販売開始
- ④遠隔操作案内ツール 販売開始
- 番組部分の機能化 ③動画生成ツール: 組み込みAPI 販売開始
- ①③⑤パッケージ 北九州空港伝え方改革
- ①④パッケージ 京東京駅遠隔操作案内 スマートアバターアシスト

2009 希 2010 勝 2011 正 2012 望 2013 心 2014 福 2015 志 2016 進 2017 輝 2018 進 2019 咲 2020 協 2021 力 2022 愛 2023 為 2024 合 2025 組

- ▲独自AI開発開始 (感情類型DB/表情仕草演出ライブラリ)
- ▲アプリケーション開発開始
- ①誰でもセリフや音声入力だけでキャラクター動画が作れる
- ②動作仕草・番組演出効果は、入力内容をAIが判断して自動演出、カメラワークや照明・背景音楽・効果音の組み合わせも自由
- ③何回でも訂正でき、何回でも作れ、時間も自由、複数言語対応可能、画期的な低コスト動画作成を実現 ※専門家集団に番組作成を依頼する事無く、繰り返し何度でも作れる
- ④しかも同時に複数端末に配信できる
- ▲入力支援装置、入力支援方法及びプログラム (日・米・中・韓・台 特許査定済)
- ▲番組画像記憶システム、番組画像記憶方法及びプログラム (日本特許査定済)
- ▲商標登録済「マーク+スマートアバター」
- ⑤テレビ放映様式 (放送界標準のMXFファイル形式) での番組作成も可能になった。しかも、ネット上での様式であるMP4ビデオファイル形式・パソコンでの様式であるWMV形式への相互互換も可能で、番組をあらゆる様式で作れる自由度が更に高まった。
- ⑥これまでの感情類型データベースなどを利用して、番組を自動生成する技術を活かしリアルタイムで番組を自動生成する技術を開発。生放送でも、生配信でも、ごく少数のスタッフで、多くの映像データを利用して放送や配信することができる。
- ▲番組制作装置、番組制作方法及びプログラム (日・中・米 特許査定済)
- ▲番組作成方法、番組作成装置及びプログラム (日・米・中 特許査定済)
- ▲商標登録済「スマートアバター」
- ▲商標登録済「Smartavatar」
- ▲実用新案サーバー装置 (日本特許査定済)
- ⑦顧客の対応数が多く、多様性もあり、対応全般が一貫的ではない場合、スマートアバターが、職員に代わってWEBルートで、顧客の属性に合わせた説明を行うためのサーバー装置
- ・職員は、本部サーバーから説明動画を選択
- ・見込客・既存客に沿った追加の説明動画を本部サーバーに投稿、サーバーで動画データの結合処理をおこない、それを顧客宛WEBルートで届ける。
- ・送付された顧客は、WEBシステムから申込など手続きを行う
- ・受付完了のご案内と説明動画を届ける
- ・後、状況に沿ったアフターフォローもWEBルートで届けることで、職員やコールセンターの負担軽減も図れる。

教育装置、教育方法及びプログラム (特許査定中) ▲

- ⑧業務マニュアルの整備や、チャットボットなどの利用において、聞き手に必要な専門知識を伝えることに加えて、その専門知識が正しく伝わるように表現を工夫することにある。一般に、専門家の知識は、正しく伝えようとするほど、聞き手にとって理解が難しいものとなる。聞き手の状況に応じて、聞き手が受け取りやすくなるように専門知識を表現することで、聞き手の理解が進むようにすることができる装置。